

匂いの神経科学～遺伝子から見た匂いの感覚

東京工業大学
廣田 順二

私たちは、日常的に芳しい香りから嫌な臭いまで様々な匂いに出会い、それらを意識下または無意識下のうちに感じとっています。こうした匂い物質の感知にかかわる感覚が嗅覚です。視覚優位となったヒトでは嗅覚の重要性が認識される機会は多くないが、多くの動物にとって、嗅覚は最も重要な感覚として機能しています。本講座では、匂いの感覚の仕組みを遺伝子レベルから紹介します。

初心者のための自作PC講座

門口 利雄

1人1台のパソコンを部品から組み立てる講座です。組み立てに加えて、パソコンに WindowsやChromeOSをインストールを行います。

むずかしそうな本を読んでみよう

元本校社会科教員
吉野 聡

紙で綴じた本を読みます。参加者が一冊ずつ持ち寄った本を各自紹介してもらいます。その後、ひとりではきっと読まない本、今まで読んでことがない本を、みんなで、読んでいきます。本の世界が広がって見えるかもしれません。

西洋精神史入門

哲学者 元千葉大学教授
田島 正樹

ヨーロッパの文化・思想に対する理解を深めるために、古代ギリシア文化とキリスト教についての理解が欠かせません。1学期には、古代ギリシアについてお話しいたします。B.C.5世紀に頂点を迎えたギリシアは、芸術、哲学はもとより、史上初めて民主主義を実現し、ユークリッド幾何学の証明論に基づく純粋数学を達成するなど、今日に至るまではかり知れない遺産を我々にもたらしました。それらの基礎に、ギリシア人のいかなる経験があったのかについて考えたいと思います。

経済と金融

金融経済アナリスト 財務コンサルタント
川上 敦

経済・金融を動かす基本的な原則、更に、世界の経済の動き、マネーの動きを過去1世紀の実例を基に具体的にお話をします。現代の経済状況が、過去との比較でどうなっているかの理解も深められるように講座を行います。

**情報リテラシー
～教科書には書いていない今を学ぼう～**

元朝日新聞記者、
元朝日学生新聞代表取締役社長
協阪 嘉明

2月末に、ロシアがウクライナに戦争を仕掛けました。今後、世界では想像を絶することが起きる可能性があります。教科書にない出来事をどう受け止めるか。何を感じるか、を考えていきます。

[トピックス]

1. 「ソ連崩壊から30年。ロシアはなぜウクライナに侵攻したのか」
2. 「民主主義は盤石なのか」
3. 「世界の人口移動は」
4. 「日本はエネルギーと食料自給をどうすれば良いか」

ディベート力を手に入れる！

東京大学英語ディベート部元代表
ディベート教育国際研究会役員
「即興型ディベートの教科書」著者
加藤 彰

世界の中高生が行っている「知的スポーツ」のディベート。自分の意見を伝える、他の人の考えに触れる、物事を深く見るためにあえていろいろな立場で考える、身近な社会問題について知る最初のきっかけになるなどいろいろな面白さがあります。ディベートの魅力を共有していきたいと思えます。

生活にきつと役立つデザインレッスン

堀出 隼

デザインは「物事をより良く、より楽しくするために工夫して実行すること」。そんな事を学んでもらいながら、自分自身が思っていることを相手に表現する時、誰かを笑顔にしたい時など生活の中で役立つデザインのワークショップを行います。

(初級)・(中級) 日本舞踊の世界

日本舞踊家 五條流師範
五條 詠秀

日本の伝統芸能である日本舞踊は能と歌舞伎の影響を受けていますが、歴史としてはその中では一番新しい伝統芸能です。だからこそ、まだまだ新しい発見や可能性を秘めた伝統芸能だと思います。この講座を通して楽しさ・奥ゆかしさ・しなやかさ・カッコよさなど色々な魅力を知ってもらえたらと思います。初級・中級ともに着付けから始まり、みんなで実際に一曲踊ります。誰でも気軽に始められるのも日本舞踊の魅力です。

国際基準マナー(プロトコール)

RISA Communications代表 一般社団法人
「100年先のこどもたちへ」代表理事
大網 理紗

人生において大きな財産になる「振る舞い方」「話し方」「考え方」「食べ方」「書き方」。この5つを深めていくことを教養と呼ぶのではないのでしょうか。この5つの角度から、国際基準マナーを考えていきます。新しい内容が多く含まれるので、国際基準マナーは守らないといけないルールではなく、人生の中で、ごく自然なものとして湧き出てくる教養のようなもの。世界の舞台に立つための第一歩として、大きな財産となるこの5つを一緒に磨いていきたいと思えます。